



理事のお話をいただいた時、びっくりしました。どうして私に？という気持ちでした。しかし、頼みに来られた選考委員さんの気持ちを素直に受け止め、女性で過去に理事をされた諸先輩方の歴史を引き継がなければという想いで引き受けることを決心しました。

平成29年に女性部の組織代表理事に就任した時は、組合員の意見や要望をJAへ反映させることが理事の役割だと思っていました。しかし今期理事に就任し、その考え方が少し変わってきたのです。組合員は「事業利用者」であり「運営参画者」です。我々組合員は、JA菊池という組織を運営していかなければなりません。時代が変化する中でより円滑に運営していくためには、組合員と役職員が一体となり、お互いの思いやりが大切だと感じるのです。例えば、職員が休日に出勤しなくてもいいように、組合員は休日の分まで考慮し資材を注文

選ばれるJAを目指し いっしょに変えていきましょう

理事の役割とは



いけだ あきこ
理事 池田 明子 ⑦〇

趣味

ご飯をたくさん作っておすそわけすること。夫（恭成さん）とふれあいの旅に参加すること。

プロフィール

2017年 組織代表理事（女性部）に就任（1期）。2023年 理事（西合志）に就任。



左から 松岡西合志中央支所長、高島理事、上村担当理事、池田理事

しておく。職員からの視点であれば、休みに入るとわかっていけば、事前に組合員が困らないようにできることはないか考える、などがあげられますよね。風通しの良い組織づくりによって、より良い運営に繋がるようになればいいと思います。

今は情報過多で、インターネットで調べれば何でもわかる時代です。そういう時代だからこそ、選ばれるJAであり続けるには、若い人や女性の力が必要だと感じています。そしてもっと積極的にJAの運営に参画していただ



れば、組織の発展につながっていくと信じています。

組合員へJAの全体のことや実態を伝える役割こそ理事の一番の役割なのかもしれません。

お世話になってきた JAへ恩返し

結婚し、養豚から花苗へ経営転換して頑張った子どもたちを育ててきました。その後、夫が中心となり地域の機械利用組合を法人化して地域農業を守りながらなんとかここまでやってきました。今は息子達がトマトを中心に経営し、農業経営を継いでくれており、とても嬉しいです。苦しい時期もありましたし、順風満帆ではなかったけれど、JAに後押ししていただいたからこそ今があります。お世話になったJAへ恩返しの気持ちで組織経営が発展していくよう、これからも頑張ります。